

令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S07-02-01			
施設名	あらかわりサイクルセンター					
所在地	荒川区南千住三丁目28番69号					
部課名	環境清掃部清掃リサイクル推進課					
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)			
	建築	平成28年10月10日	862,058	国・都	区債	一般財源
	増改築①					
	増改築②					
併設施設	-					
竣工年月日	平成28年9月16日		常勤・非常勤	その他		
供用開始年月日		職員数	4	18		
構造	鉄骨造		階層	2階		
面積	敷地面積		1,999 m ²			
	延床面積		1,578 m ²			
設置目的・経緯	資源の長期的かつ安定した中間処理や資源の処理工程の見学、体感学習等の普及啓発事業を行う。					
関連部署						
根拠法令等 設置条例	廃棄物処理法第6条の2第1項 容器包装リサイクル法第6条第1項					
駐車場の状況	有	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ		
駐輪場の状況	有	対応状況	● 点字ブロック	○ スロープ		



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から	
事業内容	(1)区内から回収した資源(びん、缶、トレイ、ペットボトル)の中間処理 (2)区内の小学校及び町会等の施設見学会の実施 (3)リサイクル資源を使った工房・教室の実施					
対象者	区民					
運営時間等	運営時間	午前8時30分～午後5時15分				
	休日	日曜日、年末年始				
施設基本データ等	団体来場者数(工房参加者、団体者数含む)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込み)
	開館日数(28年10月10日開設)	-	1,201	3,877	3,748	3,500
	工房・教室回数	-	146	311	308	310
	工房・教室参加者数	-	58	145	111	70
	工房・教室参加者申込率	-	189	557	624	415
	施設見学実施小学校数	-	38	50	62	70
	資源中間処理量(t)	-	6	24	24	24
		-	1,282	2,627	2,654	2,700
備考	平成29年度から区内小学校全24校の施設見学を実施している。					

III 財務諸表

(単位:千円)

	勘定科目			H29年度	H30年度	差額	勘定科目			H29年度	H30年度	差額
	行政コスト計算書	行政費用	特別費用				行政収入	特別収入	当期収支差額			
行政コスト計算書	給与関係費	22,990	23,070	80	地方税等	0	0	0	0	0	0	
	物件費	101,189	25,534	▲ 75,655	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	
	維持補修費	83	230	147	都支支出金	0	0	0	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	0	0	0	
	補助費等	1,184	102	▲ 1,082	使用料及び手数料	864	795	▲ 69	0	0	0	
	減価償却費	36,468	36,468	0	その他	218	69	▲ 149	0	0	0	
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1,082	864	▲ 218	0	0	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,238	1,988	750	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 162,070	▲ 86,528	75,542	0	0	0	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 390	▲ 436	▲ 46	0	0	0	
	行政費用合計(b)	163,152	87,392	▲ 75,760	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 162,460	▲ 86,964	75,496	0	0	0	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 162,460	▲ 86,964	75,496	0	0	0		
貸借対照表	勘定科目			H29年度	H30年度	差額	勘定科目			H29年度	H30年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	1,238	15,753	14,515	0	0	0
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	14,420	14,420	0	0	0
	固定資産	有形固定資産	797,959	761,492	▲ 36,467	賞与引当金	1,238	1,333	95	0	0	0
		土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0	0	0	0
		建物	767,791	767,791	0	固定負債	449,774	435,660	▲ 14,114	0	0	0
		建物減価償却累計額	▲ 34,502	▲ 69,004	▲ 34,502	特別区債	436,000	421,580	▲ 14,420	0	0	0
		工作物等	66,636	66,636	0	退職給与引当金	13,774	14,080	306	0	0	0
		工作物等減価償却累計額	▲ 1,966	▲ 3,931	▲ 1,965	その他の固定負債	0	0	0	0	0	0
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	451,012	451,413	401	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	346,947	310,079	▲ 36,868	0	0	0	
	その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	346,947	310,079	▲ 36,868	0	0	0	
資産の部合計	797,959	761,492	▲ 36,467	負債及び正味財産の部合計	797,959	761,492	▲ 36,467	0	0	0		
備考	行政コスト計算書は、予算組替えにより、施設の管理コストのみ計上するよう変更した。物件費は、主に中間処理に係る委託料、建物の維持管理に係る委託料や光熱水費等であり、補助費は、工房・教室の講師謝礼等である。											

	指標	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	0.0	4.4	8.7	
	1㎡当たりコスト(円)	-	11,537	103,405	55,389	
	人にかかるコストの割合(%)	-	32.5	14.8	28.7	
備考	28年度は10月に開設して10～3月の6月間、29年度は1年間分であるためコスト等が増加した。30年度は施設の管理コストのみ計上するよう変更したことにより、1㎡当たりのコストが減少し、人にかかるコストの割合が上昇した。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: 整備計画)						
目標指標	指標名・単位	目標値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	団体来場者数	実績値	-	857	1,760	2,800	3,000
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他()						
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無						
利用者・地域のニーズ							
現状・課題	<p>○中間処理行程の見学やリサイクル工房での体験を通して、来場者に3R(リデュース・リユース・リサイクル)への関心を持ってもらう機会を提供する施設となっている。</p> <p>○通年実施の工房のほか、長期休み等の機会に季節に応じた子ども向け工房を実施し、好評を得た。通年実施の工房については、参加人数等を分析して定期的に見直すほか、周辺施設との連携講座の実施等について検討する。</p> <p>○南千住地域からの来場者が多いため、区内他地域からも来場いただけるような工夫が必要である。</p> <p>○資源の中間処理を長期的に持続可能な状態とするため、安定的な稼働が必要である。</p>						
課題に対する現時点での考え	<p>○今後はリサイクルセンターを、様々な形で区の3R推進に協力いただける「3Rリーダー」の発掘・育成の拠点として活用していく。</p> <p>○地域の様々なイベントや団体と連携し、リサイクルセンターのPRと普及啓発に努める。</p> <p>○区内他地域を対象としたバス見学会等の実施を検討する。</p> <p>○資源の中間処理施設として、引き続き、安定稼働できるよう運営・管理を行う。</p>						
議会、利用者等からの意見	平成28年度建設環境委員会「普及啓発の拠点としての活用」						

令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S07-02-02			
施設名	尾竹橋施設					
所在地	荒川区町屋7丁目16番21号					
部課名	環境清掃部清掃リサイクル推進課					
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)			
	建築	平成7年12月	48,452	国・都	区債	一般財源
	増改築①					
	増改築②					
併設施設						
竣工年月日	平成7年12月		常勤・非常勤	その他		
供用開始年月日	平成12年7月	職員数	0	0		
構造	鉄筋コンクリート造	階層	地上2階			
面積	敷地面積	3,235.85 m ²				
	延床面積	554 m ²				
設置目的・経緯	リサイクル事業用品の保管に使用					
関連部署	環境課					
根拠法令等 設置条例	なし					
駐車場の状況	無	バリアフリー	○エレベーター	○だれでもトイレ		
駐輪場の状況	無	対応状況	○点字ブロック	○スロープ		



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から	
事業内容	(1) 3R普及啓発事業として開催する家具のリサイクルで展示する家具の保管 (2) 町会及び推進団体等に貸与する回収用折りたたみコンテナやペットボトル回収用ネット等の保管 (3) 組成調査及び排出原調査の検査場所					
対象者	区民					
運営時間等	運営時間					
	休日					
施設基本データ等	家具のリサイクル(提供個数)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込み)
	家具のリサイクル(開催回数)	37	43	-	-	-
	電気使用量(kw)	1	1	-	-	-
	水道使用量(m)	526	627	1,072	538	-
	ごみ排出量	3	2	2	1	-
		0	0	0	0	-
に指定 に係る 管理 費						
備考	平成29年度から、家具のリサイクルの開催場所を「あらかわりサイクルセンター」に変更した。(年2回)					

III 財務諸表

(単位:千円)

	勘定科目			H29年度	H30年度	差額	勘定科目			H29年度	H30年度	差額
	行政コスト計算書	行政費用	特別費用				行政収入	特別収入	当期収支差額			
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	0	0	地方税等	0	0	0	0	
	物件費	932	900	▲ 32			国庫支出金	0	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0			都支支出金	0	0	0	0	
	扶助費	0	0	0			分担金及び負担金	0	0	0	0	
	補助費等	0	0	0			使用料及び手数料	0	0	0	0	
	減価償却費	2,910	2,910	0			その他	0	0	0	0	
	不納欠損・賞与引当金繰入額	0	0	0			行政収入合計(a)	0	0	0	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0			行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 3,842	▲ 3,810	32		
	その他行政費用	0	0	0			金融収支差額(d)	0	0	0	0	
	行政費用合計(b)	3,842	3,810	▲ 32			通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 3,842	▲ 3,810	32		
	特別費用(g)	0	0	0			特別収入(f)	0	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0			当期収支差額(e)+(h)	▲ 3,842	▲ 3,810	32			
貸借対照表	勘定科目			H29年度	H30年度	差額	勘定科目			H29年度	H30年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	0	流動負債	0	0	0	0	
		不納欠損引当金	0	0	0	0		還付未済金	0	0	0	
		その他の流動資産	0	0	0	0		特別区債	0	0	0	
	固定資産	有形固定資産	620,199	617,289	▲ 2,910			賞与引当金	0	0	0	
		土地	561,895	561,895	0			その他の流動負債	0	0	0	
		建物	107,770	107,770	0			固定負債	0	0	0	
		建物減価償却累計額	▲ 49,466	▲ 52,376	▲ 2,910			特別区債	0	0	0	
		工作物等	13,330	13,330	0			退職給与引当金	0	0	0	
		工作物等減価償却累計額	▲ 13,330	▲ 13,330	0			その他の固定負債	0	0	0	
	無形固定資産	0	0	0			負債の部合計	0	0	0		
建設仮勘定	0	0	0			正味財産	620,199	617,289	▲ 2,910			
その他の固定資産	0	0	0			正味財産の部合計	620,199	617,289	▲ 2,910			
資産の部合計	620,199	617,289	▲ 2,910			負債及び正味財産の部合計	620,199	617,289	▲ 2,910			
備考	行政費用の物件費は、施設の機械警備や樹木剪定、害虫駆除に係る委託料等である。											

	指標	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	49.5	51.9	54.3	
	1㎡当たりコスト(円)	-	6,241	6,936	6,878	
備考	平成30年度は前年度に比べ、1㎡あたりのコストは58円の減であった。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 (計画名: _____)					
目標指標	指標名・単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	目標値 実績値	- -	- -	- -	- -	- -
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他(_____)					
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容: _____) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	<p>○平成12年度に清掃事業の移管に伴い東京都から譲渡された施設。移管後20年間(令和元年度末まで)は清掃関連の施設として使用する必要があるため、清掃リサイクル推進課が備品の保管等で活用している。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○清掃関連施設としての用途指定期間が終了する令和2年度以降の活用について、検討し必要がある。</p>					
議会、利用者等からの意見	<p>平成26年度予算特別委員会 「有効活用の検討」</p>					

令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S07-02-03		
施設名	清掃リサイクル事務所				
所在地	町屋五丁目19番1号				
部課名	環境清掃部清掃リサイクル推進課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	219,907	国・都	区債	一般財源
	増改築①				
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	昭和45年7月		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和45年7月	職員数	76人		
構造	RC造	階層	新館:地上3階 旧館:地上4階		
面積	敷地面積	1,855 m ²			
	延床面積	新館:735.85m ² 旧館:1082.75m ²			
設置目的・経緯	区内廃棄物の発生抑制、再利用・資源化の促進及び適正処理 平成12年4月、都から特別区に清掃事業が移管				
関連部署	環境課				
根拠法令等 設置条例	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 荒川区廃棄物の処理及び再利用に関する条例等				
駐車場の状況	有	バリアフリー	<input type="checkbox"/> エレベーター	<input type="checkbox"/> だれでもトイレ	
駐輪場の状況	有	対応状況	<input type="checkbox"/> 点字ブロック	<input type="checkbox"/> スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	—	期間	—	から まで	
事業内容	廃棄物の収集・運搬及び処分、庁舎機能の維持管理等					
対象者	区民、事業者、職員					
運営時間等	運営時間	午前7時40分～午後5時15分				
	休日	日曜日、年末年始の指定日				
施設基本データ等	作業(開所)日数(日)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込み)
	電気使用量(Kw)	311	310	310	309	311
	ガス使用量(m ³)	88,388	89,114	87,922	86,635	-
	水道使用量(m ³)	28,258	29,942	30,507	28,770	-
		6,217	6,081	6,079	6,048	-
指定管理に係る費用						
備考	電気、ガス、水道の使用量はほぼ横ばいである。					

III 財務諸表

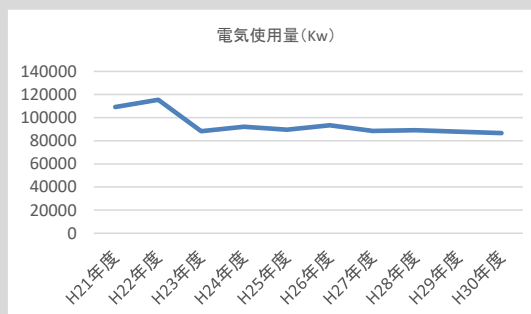
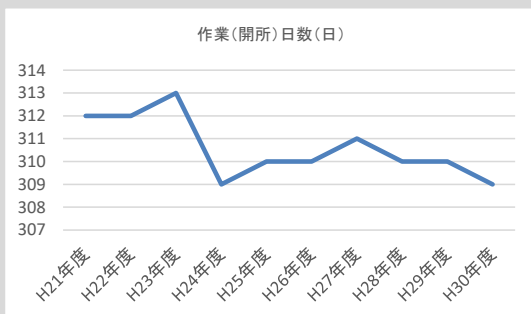
(単位:千円)

	勘定科目			勘定科目	勘定科目				
	H29年度	H30年度	差額		H29年度	H30年度	差額		
行政コスト計算書	給与関係費	546,512	505,053	▲ 41,459	地方税等	0	0	0	
	物件費	22,095	21,902	▲ 193	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	1,602	4,810	▲ 3,208	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	132	135	3	
	減価償却費	4,605	5,776	1,171	その他	112	103	▲ 9	
	不納欠損・賞与引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	244	238	▲ 6	
	賞与・退職給与引当金繰入額	119,701	28,481	▲ 91,220	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 694,271	▲ 565,784	128,487	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	694,515	566,022	▲ 128,493	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 694,271	▲ 565,784	128,487	
	特別費用(g)	108,173	0	▲ 108,173	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	▲ 108,173	0	108,173	当期収支差額(e)+(h)	▲ 802,444	▲ 565,784	236,660		
貸借対照表	勘定科目			勘定科目			勘定科目		
	H29年度	H30年度	差額	H29年度	H30年度	差額	H29年度	H30年度	差額
	収入未済	0	0	0	流動負債	28,921	28,481	▲ 440	
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	有形固定資産	385,587	380,018	▲ 5,569	賞与引当金	28,921	28,481	▲ 440	
	土地	326,611	326,611	0	その他の流動負債	0	0	0	
	建物	241,917	241,917	0	固定負債	586,812	522,942	▲ 63,870	
	建物減価償却累計額	▲ 182,942	▲ 188,511	▲ 5,569	特別区債	0	0	0	
	工作物等	3,749	3,749	0	退職給与引当金	586,812	522,942	▲ 63,870	
	工作物等減価償却累計額	▲ 3,749	▲ 3,749	0	その他の固定負債	0	0	0	
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	615,733	551,423	▲ 64,310		
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	▲ 229,320	▲ 170,786	58,534		
その他の固定資産	826	619	▲ 207	正味財産の部合計	▲ 229,320	▲ 170,786	58,534		
資産の部合計	386,413	380,637	▲ 5,776	負債及び正味財産の部合計	386,413	380,637	▲ 5,776		
備考	物件費の内訳は、庁舎管理に係る清掃等の委託料のほか、消耗品費や光熱水費等である。維持補修費は、庁舎維持管理のための修繕費であり、平成30年度はガス管改修工事を行ったため大幅な増となっている。行政収入の「使用料及び手数料」は、労働組合事務室や公衆電話設置に係る使用料であり、「その他」は自販機設置に係る光熱水費等である。								

指標		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	33.1	76.0	78.3	
	1㎡あたりコスト(円)	-	352,020	381,895	311,241	
備考	平成30年度は前年度に比べ、1㎡あたりのコストは70,654円の減であった。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	目標値 実績値					
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化	○ 他施設との統合	○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の老朽化に伴い、修繕費が増加している。 ○粗大ごみのさらなる資源化を進めるにあたり、施設内のスペースが限られていることから、選別作業を施設外で行う必要がある。 ○近隣の路上駐車を防止するため、収集・運搬車両の駐車スペース、作業員の待機・休憩場所を確保する必要がある。 					
課題に対する現時点での考え	<ul style="list-style-type: none"> ○公共施設等総合管理計画等に基づき、計画的な改修等を実施する。 ○金属系粗大ごみの資源化については施設内で選別作業を実施しているが、更なる資源化を進める場合、それ以外の品目については選別作業を含めた契約を検討する必要がある。 ○収集・運搬車両の駐車スペース、作業員の待機・休憩場所を施設内に拡大することは困難なため、南千住清掃車庫の有効活用を検討する。 					
議会、利用者等からの意見						



令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S07-02-04			
施設名	南千住清掃車庫					
所在地	南千住四丁目1番8号					
部課名	環境清掃部清掃リサイクル推進課					
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)			
	建築	平成12年2月	380,197	国・都	区債	一般財源
	増改築①					
	増改築②					
併設施設						
竣工年月日	平成12年2月		常勤・非常勤	その他		
供用開始年月日	平成12年4月	職員数	9人			
構造	S造3階	階層	地上3階			
面積	敷地面積	1,900 m ²				
	延床面積	管理棟: 994.80m ²	洗車場: 123.52m ²	m ²		
設置目的・経緯	廃棄物の収集・運搬車両の管理運営等					
関連部署	環境課					
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
設置条例	荒川区廃棄物の処理及び再利用に関する条例等					
駐車場の状況	有	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ		
駐輪場の状況	有	対応状況	● 点字ブロック	○ スロープ		



II 管理運営の状況

管理形態	直営	—	期間	—	から	
事業内容	収集・運搬車両の管理・整備・点検、庁舎機能の維持管理等					
対象者	事業者、職員					
運営時間等	運営時間	午前7時40分～午後4時25分				
	休日	日曜日、年末年始の指定日				
施設基本データ等	作業(開所)日数(日)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込み)
	電気使用量(Kw)	311	310	310	309	311
	ガス使用量(m ³)	91,427	94,284	92,337	94,356	-
	水道使用量(m ³)	7,209	5,791	5,668	6,020	-
		2,292	2,253	2,280	2,015	-
指定管理に係る費用等						
備考	電気、ガス、水道の使用量はほぼ横ばいである。					

III 財務諸表

(単位:千円)

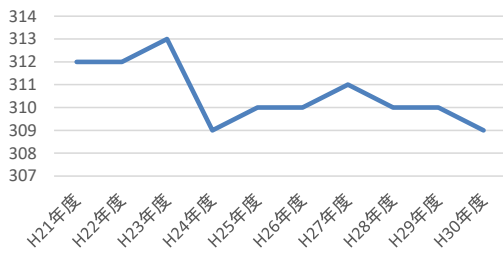
	勘定科目				勘定科目			
	H29年度	H30年度	差額	H29年度	H30年度	差額		
行政コスト計算書	給与関係費	68,710	65,339	▲ 3,371	地方税等	0	0	0
	物件費	7,825	8,395	570	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	857	971	114	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	56	56	0
	減価償却費	12,546	12,546	0	その他	52	56	4
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	108	112	4
	賞与・退職給与引当金繰入額	15,049	3,685	▲ 11,364	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 104,879	▲ 90,824	14,055
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	104,987	90,936	▲ 14,051	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 104,879	▲ 90,824	14,055
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	49	50	1
特別収支差額(f)-(g)=(h)	49	50	1	当期収支差額(e)+(h)	▲ 104,830	▲ 90,774	14,056	
貸借対照表	勘定科目				勘定科目			
	H29年度	H30年度	差額	H29年度	H30年度	差額		
	流動資産	0	0	0	流動負債	3,636	3,685	49
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	887,760	875,213	▲ 12,547	賞与引当金	3,636	3,685	49
	土地	733,400	733,400	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	380,197	380,197	0	固定負債	73,777	67,654	▲ 6,123
	建物減価償却累計額	▲ 225,837	▲ 238,383	▲ 12,546	特別区債	0	0	0
	工作物等	64,856	64,856	0	退職給与引当金	73,777	67,654	▲ 6,123
	工作物等減価償却累計額	▲ 64,856	▲ 64,856	0	その他の固定負債	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	77,413	71,339	▲ 6,074	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	810,347	803,874	▲ 6,473	
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	810,347	803,874	▲ 6,473	
資産の部合計	887,760	875,213	▲ 12,547	負債及び正味財産の部合計	887,760	875,213	▲ 12,547	
備考	物件費の内訳は、洗車排水施設保守点検委託、昇降機保守委託や清掃委託等の南千住清掃車庫の管理・運営に係る委託料のほか、光熱水費や消耗品費等である。行政収入の「使用料及び手数料」は、配水管マンホールや電柱の占用に係る使用料であり、「その他」は自販機等設置に係る光熱水費である。							

指標		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	62.5	65.3	68.1	
	1㎡あたりコスト(円)	-	82,188	93,879	81,315	
備考	平成30年度は前年度と比べ、1㎡あたりのコストは12,564円の減であった。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	目標値 実績値					
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化	○ 他施設との統合	○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	○竣工から20年近く経っていることから、経年劣化に伴う修繕費が増加している。 ○直営収集・運搬車両の減少に伴い確保した駐車スペースを、雇上会社の収集・運搬車両の待機・休憩場所として活用している。					
課題に対する現時点での考え	○公共施設等総合管理計画等に基づき、計画的な改修等を実施する。 ○収集・運搬車両の駐車スペース、作業員の待機・休憩場所を清掃リサイクル事務所に拡大することは困難なため、南千住清掃車庫の有効活用を検討する。					
議会、利用者等からの意見						

作業(開所)日数(日)



電気使用量(Kw)

